

学生と一緒に発信♪

やまがた緑環境税プロモーション事業



◆ 参加した学生の感想 ◆

- ・ 展開先が多く、用途ごとに見え方が変わらないようにするのが難しかった。
- ・ より多くの人に親しまれるよう、税の堅い印象を和らげる表現を意識した。
- ・ 子供から大人まで直感的に理解できるロゴ表現を目指した。



オリエンテーション風景



若年層への認知度向上のため、東北芸術工科大学の学生の皆さんとやまがた緑環境税プロモーション事業を実施しました。

4月にオリエンテーションを行い、ブナのしくストラップづくりでわいわい交流しながら、やまがた緑環境税について学んでいただきました。学生たちの「素直な疑問」「やさらかな発想」に触れて、私たちも新しい気づきをたくさん得られました。

- ・ キャンペーンロゴの制作は初めてで、やや難しさを感じた。
- ・ デザインには「伝える」役割だけでなく、「参加してもらう」役割もあると感じた。
- ・ ロゴ単体だけでなく、実際に使われる場面を想定した展開にも挑戦したいと感じた。
- ・ 本プロジェクトを通じて「やまがた緑環境税」の存在や取り組み・課題を知り、デザインで貢献できる実感を得られたことが嬉しかった。
- ・ 「税」という言葉は「負担」「堅苦しい」「多く取られる」といったネガティブな印象があり、関心を持ってもらうための心理的ハードルが高い。この先入観をどう乗り越えるかを考えるのが難しかった。
- ・ 森という身近だが価値感が薄い対象を、若年層が直感的に理解・共感する形で提示することが難しかった。
- ・ 制作を通じて、自分自身が改めて森林の重要性を実感した。
- ・ 実際に県内の森林を訪れて学んだうえで制作できれば、より説得力のある表現が可能になると感じている。
- ・ 本プロジェクトで初めて「やまがた緑環境税」を知り、税へのネガティブな印象がポジティブに変化した。



プレゼンテーション

その後7月には、グラフィックデザイン学科が考えたキャンペーンロゴのプレゼンテーションを実施。どの案も若い人に親しみやすい工夫がいっぱい、で悩ましい選考となりましたが、事務局で検討した結果、高橋瑚亜（たかはしこあ）さんのデザインがキャンペーンロゴに決定しました！

決定したロゴは次頁に写真を掲載しています。これからはこのロゴを使った展開をしていきますので、お楽しみに！



キャンペーンロゴ



動画撮影風景



また、企画構想学科の学生たちは「森林を守らないと、生活はどうなるか？」をテーマに、ドラマ仕立てのインスタグラム用動画を制作。高校生・大学生をメインターゲットに、共感と呼ぶストーリーで発信しました。

動画はやまがた緑環境税のインスタグラムで公開中です（次頁二次元コードからどうぞ）。

【実施】東北芸術工科大学（グラフィックデザイン学科・企画構想学科）3年生

【指導】田中康博教授（グラフィックデザイン学科）、片岡英彦教授（企画構想学科）

ちょっとした「気づき」が未来の森を守る一歩になります。ぜひインスタグラムで学生たちの作品を見て、感想をお寄せください！



Instagram